

白河総合診療アカデミーとは

福島県立医科大学と福島県厚生農業協同組合連合会が、同大学の臨床研究イノベーションセンターに設置した寄付講座です。

Mission

世界に先駆けて超高齢社会を迎えた日本。その新しい医療ニーズに必要な問題解決能力を有する医師を育成します！

- 病院総合診療と地域医療は両方必要！だから両方学びます。
- 更に、両者をつなぐ“新しい”総合診療の形を目指します。
- エビデンスを“調べる”、“使う”だけでなく、自ら“創る”力を身につけます。

総合診療と臨床研究を同時に学ぶなんてできるの？ それを可能にする指導体制

プログラム責任者

白河総合診療アカデミー センター長

前原 和平 白河厚生総合病院院長、白河総合診療アカデミー客員教授

総合診療研修プログラムディレクター

東 光久 准教授

臨床研究プログラムディレクター

福原 俊一 福島県立医科大学副学長
同 臨床研究イノベーションセンター長
京都大学大学院医学研究科 医療疫学 教授

総合診療研修指導

東 光久 准教授 宮下 淳 講師
高田 俊彦 講師 林 理生 助手
(臨床研究指導兼務)

臨床研究指導

福岡 真悟 臨床研究イノベーションセンター 特任准教授
京都大学講師

福原 俊一 臨床研究イノベーションセンター長／京都大学教授

総合診療研修

充実した指導体制の下、地域医療を担うために必要なプライマリ・ケア診療能力から、中核病院における総合診療医として必要な包括的診療能力、地域でも中核病院でも必要となる総合診療リテラシーの習得を目指します。

病院総合診療コース

中核病院での診療で求められる能力

診断推論・救急医療
科学的根拠の正しい利用能力

地域医療で求められる能力

予防医療・健康増進
患者の物語の理解

地域医療コース

総合診療リテラシー

診療能力 高齢者医療、緩和医療、複雑事例、チーム医療
教育 研修医教育、スタッフ同士の生涯教育
マネジメント能力 医療安全・診療の質の改善
コミュニケーション能力、リーダーシップ

研修プログラムとしては、**外来・病棟研修メインの病院総合診療コース**と、**北海道家庭医療学センターでの地域医療コース**を選択可能です。また、プライマリケア連合学会、日本内科学会の施設認定を取得しています。

専任スタッフ

総合診療領域の実績ある施設で十分な研鑽、教育経験を積んだ4名の医師が、病院に常駐しています。それぞれがこれまでに培ったノウハウを持ち寄り、質の高い総合診療の実践、教育に情熱を注いでいます。



准教授 東 光久 1996年京都大学卒
天理よろづ相談所病院で研修を受けた後、同院で教育・診療に従事。オンコロジストとしての経験を活かし、抗がん治療・緩和ケア、更には膠原病診療にも力を入れる。一貫して主治医力を重視した診療を実践。

理想の総合診療を白河から始め、育み、広めよう！



講師 高田 俊彦 2004年千葉大学卒・MPH/PhD
千葉大学総合診療部で生坂教授の診断推論の薫陶を受け、困難なケースの診断に意欲。2011-2013年に君津中央病院総合診療科の立ち上げを行った後、京都大学医療疫学にて臨床研究修行。

白河総合診療アカデミーと一緒に作り上げていきましょう！

臨床研究トレーニング

1年目

日々の診療から疑問を見つけ、構造化する
疑問の解決に必要な、文献検索技法を身につける
実践として、日本語研究遠隔学習プログラム(gMAP)による臨床研究リテラシーを身につけること、積極的に国内学会での症例報告の発表・論文文化を行います。

2年目

研究をデザインする 研究に必要な統計手法を学習する

研究デザインミーティングで発表し、指導医陣からのフィードバックを活かし、より理想的なデザインへ発展させます。実践として、**Johns Hopkins大学臨床研究遠隔学習プログラム**への参加を行います。

3年目

研究を実施し発信する

国内・国際学会での発表、原著論文の執筆を目指します。



講師 宮下 淳 2003年京都大学卒・MPH
洛和会音羽病院総合診療科にて、病院総合医の奥深さを学ぶ。臨床研究の修練経験もあり。現在、市立奈良病院総合診療科で、病院総合医の殻を破り救急から地域医療までの幅広いエッセンスを取り入れることに関心。

患者さんを笑顔にする医療を白河で一緒に追求しませんか!?



助手 林 理生 2005年札幌医科大学卒
在学時にEBM、診断推論に興味を持ち、総合診療医を志した。日鋼記念病院での初期臨床研修、音羽病院総合診療科勤務を経て、EBM、NBMを両立した研修医教育と臨床研究リテラシーの習得を目指して修行中。

白河で共に学び、地域に還元していきましょう！

総合診療と臨床研究を同時に学ぶ 革新的プログラム

総合診療研修

常勤指導医による日々の病棟教育回診、救急・外来教育、各種カンファレンス等を通じた教育の他、客員／特任教授による定期的な指導で学びを深めていきます。

臨床研究トレーニング

福島医大臨床研究イノベーションセンター、Johns Hopkins 大学臨床研究遠隔学習プログラムとの密な連携の下、診療研修と並行して臨床研究の修練を受けます。

有名指導医陣を定期的に招聘し、カンファレンス、レクチャーなどの貴重な学習機会を提供します。

臨床研究イノベーションセンター理事長付特命教授



Thomas Inui Indiana 大学副医学部長・教授
Harvard 医科大学プライマリ・ケア学講座初代主任教授
2001年東京大学に客員教授として滞在、医学教育改革に尽力。

白河総合診療アカデミー 客員教授



野口 善令
名古屋第二赤病院副院長 第一総合内科部長(兼)
名古屋市立大学卒(1982年)、PhD、MPH、米国内科専門医
病院総合診療、診断推論における本邦の第一人者。



新谷 歩
大阪大学医学研究科臨床統計疫学 寄附講座教授
PhD, MPH 前 Vanderbilt 大学医学部医療統計部門准教授、若手医師への統計教育に尽力。NEJM や JAMA などへ論文を発信。

白河総合診療アカデミー 特任教授



草場 鉄周 北海道家庭医療学センター理事長
日本プライマリ・ケア連合学会副理事長
京都大学卒(1999年)、早くから家庭医療の研鑽を積み、北海道地域医療を担う。総合診療のリーダーとして、学会を牽引。



清田 雅智
麻生飯塚病院総合診療部長
長崎大学卒(1995年)、九州の総合診療のメッカ飯塚病院で研鑽、国内有数の敏腕総合診療指導医として指導的立場にあたる。

総合診療研修・臨床研究教育の場

白河厚生総合病院

白河厚生総合病院は福島県南部に位置しており、医療圏19万人をカバーする471床の地域中核総合病院です。平成20年に新築移転をしたばかりのきれいな病院で、東京駅から新幹線で80分と交通至便、勉強会、学会などへの参加も可能です。コモンディゼーズはもちろん自己免疫疾患(血管炎、SLEなど)、悪性腫瘍(原発不明癌、悪性リンパ腫)の診断・治療、重症患者のICU管理、frailな高齢者の看取りを含む包括的ケアまで積極的に取り組んでいます。



募集要項

対象	臨床経験2年以上の医師
待遇	年額 約7,300,000円 (当直・賞与含む 別途時間外手当支給)住宅手当あり
研修期間	3年間(応相談)

お問い合わせ先

白河総合診療アカデミー

Webサイト	http://www.shirakawa-ac.jp/
Facebook ページ	http://fb.com/shirakawa.academy
メールアドレス	info@fuji-future.jp



福島県立医科大学

白河総合診療アカデミー

